

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

- 一 至誠は悔るなかりしか
一 言行は恥づるなかりしか
一 氣力に憾みなかりしか
一 努力に憾みなかりしか
一 不精に怠るなかりしか

医療の、人間の原点に戻って



休日診療風景
孫を連れて、息子の車で来院のおばあさんも...

一年で64日、一日平均150人 休日診療
入浴車 三月末までの延訪問は241回
地域の皆さんに喜ばれる医療サービスに努めている西能病院は、その一環として、昨

信頼と奉仕で

西能 正一郎

今月は西能病院の二十七回目の開院記念の月になります。又、今年には五省会という医療法人に組織変更して十年目にあたる年でもあります。沢山の方々のご厚意に支えられて、今日ありますことに、職員と共にあつく御礼申し上げます。

周囲の皆様へ、きめ細かな医療を

問い直される地域における病院

科病院を開業しました。頃は、公的病院においてすら整形外科があるか、整形外科があまりない時代でありました。未だ整形外科とは何を診療する科であるかというところすら一般にはよく知られていない状況でありました。開業して間もなく、救急車を置いたことで、外傷外科として脚光を浴び、ようやく業績が安定したのであります。その後、間もなく救急病棟の指定を受け、一次救急医療機関として長い間努めて参りました。

富山市内は勿論、広く富山県内各地から来院いただきました。遠く長野、新潟、岐阜、能登と隣接県の患者さんが二十％に及ぶ時もありました。頸や腰の脊椎の手術は、前方手術、後方手術と二大別されますが、この三十年近くの間、両者を併せて二千人に達しており、これほどの症例を抱えている病院は国内にもそう多くはなからうと自負しております。私共はこれほどの仕事をさせていただいた患者さん並びにご家族の皆様へ深く感謝申し上げます。

昭和五十八年に増築して現在の規模の病院になったのでありますが、同時に発足しました内科診療においては、今までの広域の整形外科の診療圏とは別に、内科の診療圏として、病院の立地する周囲の皆様によりきめ細かな地域医療を提供する活動が必要になってきました。地域医療チームを編成して、医師、保健師、理学療法士等による在宅療養の支援活動や、入浴車サービス、又、地域の各種団体の行事への救護班出動、スポーツ関係、特に脊椎外科の高機能病院としての評価を受け、外来の開設などでありました。

医療情報サービスとして五十五年に創刊しました本紙はすでに五十号を超え、現在四千八百部を印刷しております。又、

昭和五十八年三月末までの延訪問は241回
入浴車は「24時間テレビ」チャリティ委員会から西能病院に贈られたもの。昨年四月から富山市内の在宅寝たきり老人を対象に活動を開始、今年三月(予定を含む)までの出勤日数百三十八日、のべ二十八人(うち女性十二人)の老人宅をのべ二百四十一回訪れ、一番

職員が積極的に協力 西能 院長の話

休日診療には多くの患者さんから感謝と激励のお言葉を賜り、職員一同頑張っている。とくに職員諸君が積極的に協力し、厳しい勤務ローテーションを無難に消化してくれているのが嬉しい。富山医薬大の第一内科、整形外科医局のご援助を進めようとしている。

昭和五十八年に増築して現在の規模の病院になったのでありますが、同時に発足しました内科診療においては、今までの広域の整形外科の診療圏とは別に、内科の診療圏として、病院の立地する周囲の皆様によりきめ細かな地域医療を提供する活動が必要になってきました。地域医療チームを編成して、医師、保健師、理学療法士等による在宅療養の支援活動や、入浴車サービス、又、地域の各種団体の行事への救護班出動、スポーツ関係、特に脊椎外科の高機能病院としての評価を受け、外来の開設などでありました。

あすなろ

「昭和」が終わり「平成」がスタートした。「平成」は「世の中が平らになる」という、なかなか結構な年号だが、なれないせい、どうもぴったりにないという人が多いようだ▼平成は「へいせい」と工音に始まり工音で終わる。もと「エ、ケ、セ、テ、ネ、ハ、メ、レ」は日本人に向かないらしい。とくに「へ」は嫌われてきた。江戸時代の町火消しは「い組」から「いろは」四十八組のはずが四十七組しかない。たつた一つなかつたのが「へ番」だった▼女の子の名前にも「へ」の字がつくのはあまりないようだ。言語学者の金田一春彦さんも「平成」が気に入らぬらしい。「平成」は竹下首相の好ましいが、押しつけられた今の陛下はお気の毒とまでいっている▼金田一さんが退屈しに「エ」のつく擬態語を片っ端からあげてみたら、よい意味を持つのは「てきぱき」と「めつきり」の二つぐらいだったそののだ。そういえば「へ」だけを考へても「へらへら」「へいへい」「へたへた」「べこべこ」「べたべた」「べたり」「べちやんこ」などと、ろくでもないはない▼といつても要は気の持ちよう。ひたすらへいへいってへいフク(平伏)へいこ(閉口)ばかりせず、きりつと胸を張り、あたりをへい(睨)して進みたいものだ。

西能病院 二十七年の歩み

Table with 2 columns: Year and Event.
37年3月 富山市星井町40番地に西能整形外科病院を開設(収容施設10床)
38年10月 富山市五福1130に西能整形外科病院建設着工(木造病棟)
38年12月 同病院完成、開設(18室47床)
39年5月 救急病院に認定
40年4月 第一期増築工事完成、開設(27室77床)
43年8月 第二期増築工事完成、開設(34室116床)
44年7月 富山大橋橋脚底下で地鉄ビルに診療所開設
49年7月 外来患者累計50万人を突破
51年12月 入院患者累計50万人を突破
53年4月 形成外科クリニック開設(北里大学市田先生)
54年5月 内科外来の診療開始
54年10月 「医療法人財団五省会」の認可
56年3月 「特定医療法人」認可
58年3月 第三期増築工事完了。病床百八十五床
58年4月 内科を充実、内科病棟を新設
58年10月 集団給食部門で厚生大臣賞
59年5月 西能院長に厚生大臣賞、日本病院会で病院事業の発展向上に努めた功績
60年9月 外来患者累計百万人突破
60年9月 地域住民のための健康教室を病院五階ホールで開催。毎月一回
61年4月 中国医科大学第一附属病院講師、医学博士、金明熙氏(四二)が西能病院に研修留学
61年7月 西能院長が厚生省の新医療審議会の委員に選出
61年9月 入院患者累計百万人を突破
61年11月 米国セントルイス病院外科部長のL・A・ホワイトサイド博士が、西能病院で同博士開発の画期的なセメントレス人工膝関節置換術を。
61年12月 基準看護特二類実施承認。
62年4月 地域医療チームを編成、在宅療養活動を開始
62年4月 スポーツ外来開設
62年12月 「24時間テレビ」委員会から入浴専用車の贈呈
63年4月 日曜、祝日を返上した年中無休の外来診療体制を開始
63年4月 入浴専用車で寝たきり老人の無料入浴サービスを開始
63年4月 開病記二十八篇を収録した「一人・その聲(かぐわ)しきあゆみ」を発行
63年7月 西能副院長が二代目院長に就任
63年10月 西能理事長が米国・カナダの医療現況を視察







# 新しい息吹きを

⑥

事務部総務課は、庶務係と用度係と施設係とで構成されている。



通院バスの患者さんを温かく迎える

## 総務課

### 温かく、思いやりで送迎 環境整備の向上に、一丸と

職員、患者さん、地域社会の利益につながる行動をすることだと考える。それで、患者さんや病院の各部門に対しては、相手の身になってサービスをする。ピスを大切にする。精神を大切にしている。とくに、通院バス、救急車、院内外の清掃など患者さんとの接点が多い施設では、女性二人を含む総勢五人で、細心の注意をはらって業務に当たっている。玄関先では、外来でこられた患者さんに、女性のやさらかさで温かく迎えて、思いやりと、いたわり

## 病院だより

### 一月

一つの旗のもとに

三日「仕事始め。理事長は「職員が一つの旗のもとに、同じ方向に動く覚悟をしてもらいたい。今年はその力をつける年だ」。院長は「医療の原点、人間の原点にもどって一層の努力が必要だ」と年頭所感。

十日「小会議室で誕生会、該当者十五人。

新成人に記念品  
十七日「朝礼で、新成

### 二月

十四日「小会議室で誕生会、該当者十八人。  
十八日「十九日」立山グランドホールで互助会のボーリング大会。

西能理事長が

労働時間短縮の講演

二十日「東京郵便貯金会館で開かれた健ユート・ブレインの「週休二日

### 三月

二十五日「五階ホールで「成人病について」健康教室。講師は又井、中山、山崎の三保健婦。

二十六日「富山市スポーツ少年団の認定指導員養成講習会(富山市体育文化センター)で、西能理事長が「少年期の特性」骨折について」講演。

二十三日「西能理事長が県立盲学校で「いのち」と題して講演。

二十三日「山本看護部長が新湊市福祉会館で開かれた新湊市民児童委員会と老人ボランティアの研修会で「老人看護について」講演。

### ユニークでフレッシュな活動 五省会広報委員会を設ける

医療法人五省会が設立した広報委員会(委員長、中永久光企画・管理室長、委員五人)の初会合は二月二十三日、企画・管理室で開かれた。西能理事長が「昭和五十五年十一月に創刊した五省会のユニークな活動の発展に努めたい」と、あいさつした。

### 二演題を発表 北陸整形外科集談会

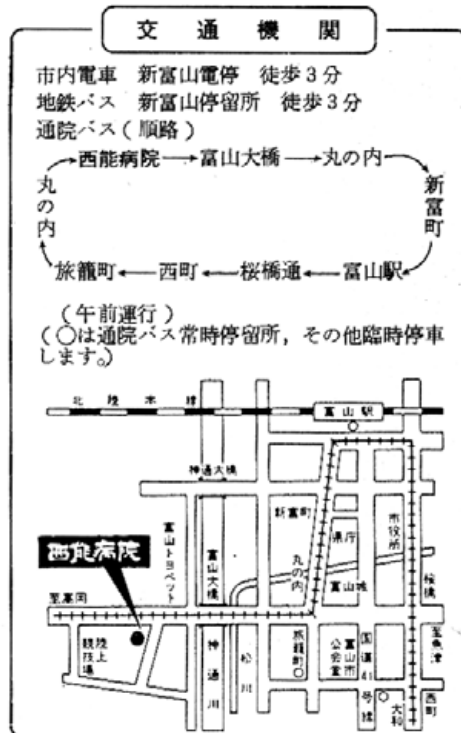
五日「金沢大学医学部臨床第一講義室で開かれた第百十回北陸整形外科集談会で、西能病院整形外科が「大腸骨転子下粉碎骨折におけるエンターピン折損の一例」(西能病院医師五人、富大工学部二人、発表・久保隆夫)権

### 在宅患者さんに訪問サービス

西能病院では、院外医療活動の一環として退院後、家庭でも安心して療養生活ができるように、在宅患者さんで通院が困難であり、診療や介護、リハビリが必要と病院が認められた方。相談窓口 詳しくは医療相談室又は地域医療チーム、内線(1484)担当は保健婦。

# 休日返上の診療体制

休日	曜日	午前	午後
整形外科科	日祝祭日	8:30 ~ 12:00	13:30 ~ 17:00
整形外科科	月~土	8:30 ~ 12:00	16:00 ~ 19:00
リハビリテーション科	月~土	8:30 ~ 12:00	13:00 ~ 19:00
内科	月~土	8:30 ~ 12:00	15:00 ~ 17:00 (火・金曜日は15:00~19:00)
スポーツ医学	水・土曜日	※スポーツ障害の治療やスポーツ相談	
神経内科外来	木曜日	13:30 ~ 17:00	
呼吸循環器科外来	月曜日	※心臓病疾患、腎臓疾患でお困りの方はご利用下さい。	
泌尿器科外来	土曜日	13:30 ~ 17:00	
形成外科	月1回	8:30 ~ 12:00	※診療日は受付でおたずねください
在宅診療	金曜日	※(在宅酸素療法を含む) 13:30 ~ 16:00	



整形外科科  
リハビリテーション科  
内科

365日 年中無休 です

救急出動 OK

もし、救急車が必要でしたら、連絡して下さい。お迎えに上ります。常時2台待機しています。